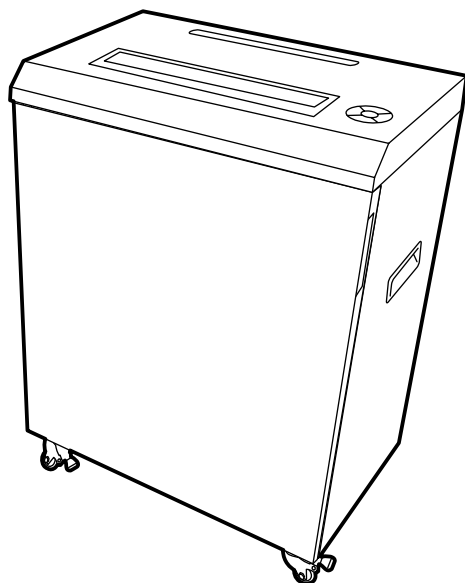




# 取扱説明書

## マイクロカットシュレッダ W01M

オートスリーブ機能搭載



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

### はじめに

このたびは弊社マイクロカットシュレッダをお買い求めいただき、ありがとうございました。  
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書は必ず保管してください。

### 目次

- 1・ 内容物の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2・ ご使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3・ 各部の名称と働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4・ ご使用の前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 5・ ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - 自動モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 手動モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
  - 紙詰まりを起こした時(手動逆転モード)・・・・・・・・・・ 11
- 6・ ゴミを捨てる時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 7・ お手入れ方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 8・ こんな時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 9・ 製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

### 保証とサービス

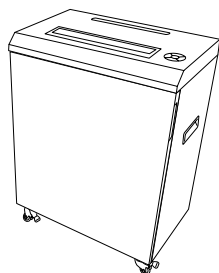
### お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。  
また使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。
- ★本機は製造途中において細断テストを含む製品検査を実施しております。細断テストの後、細断くずの除去を行っておりますが、カッターなどに付着した細断くずが輸送途中の振動などにより落下し、くず箱や本体に残っている場合があります、あらかじめご了承ください。

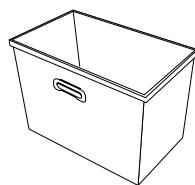
## 1・内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されていることをご確認ください。後述のセット方法にしたがって組み立ててください。

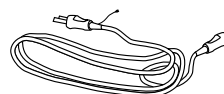
マシン本体



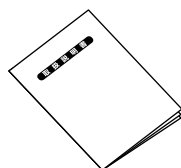
ダストボックス



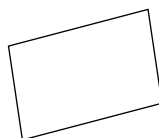
電源コード



取扱説明書（本書）



シュレッダー使用時の注意書き





※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

※必ずアース線を接続してご使用ください。  
電源プラグをコンセントへ接続する前に、必ずアース線を接続してください。  
また、アース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

※付属の電源コードは、本機専用です。  
他の電気機器ではご使用できません。

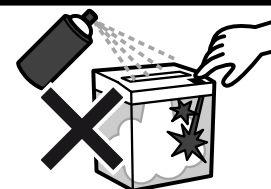
## 2・ご使用上の注意

### 表示の意味

-  **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

### 警告



**絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤をシュレッダー機構部に噴霧したり、エアゾールを紙投入口から噴霧しないでください。**

シュレッダーの紙投入口、カッター部、ダストボックス等にスプレー噴霧した場合、シュレッダー内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダーのON-OFFスイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等に引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。機械の清掃や機構部の注油が必要な場合は、取扱説明書をご覧になるか、弊社にお問い合わせの上、危険のない正しいやり方で行ってください。（万一、事故が発生し、火傷を負った場合は、すぐに患部を氷水等で冷やしてから医師の手当てを出来るだけ早く受けてください。）



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。  
※マシンヘッド内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。



危険ですので、カッター部には手を触れないでください。また、投入口や排出口には指を入れないでください。  
※マシンヘッド内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・衣類が引き込まれないようにしてください。  
※けがをする原因になる恐れがあります。  
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転動作させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転動作させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。



髪が引き込まれないようにしてください。

※けがをする原因になる恐れがあります。

万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。

※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。

※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



お手入れの際に可燃性スプレーを使用しないでください。内部にガスがたまり、引火の危険性があります。



万一、煙が出たり、変な臭いがあるなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



## 注意



本機は紙類の細断専用機です。他の目的に使用しないでください。

※故障の原因となります。

★OHPシート・カーボン紙・厚紙・通帳の表紙・封筒(糊がついているため)・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは細断には適しません。投入しないでください。

★10号・11号針以外のステープル・クリップ・ピン等は必ず取り除いてから投入してください。



本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。

水平で安定した場所に設置してください。

※けがをする原因になる恐れがあります。

操作中に転倒したときは、必ず電源を切って適切に処理してください。



本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、のったりしないでください。

※けがをする原因になる恐れがあります。



冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



ゴミを捨てる時、長時間ご使用にならない時、移動する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



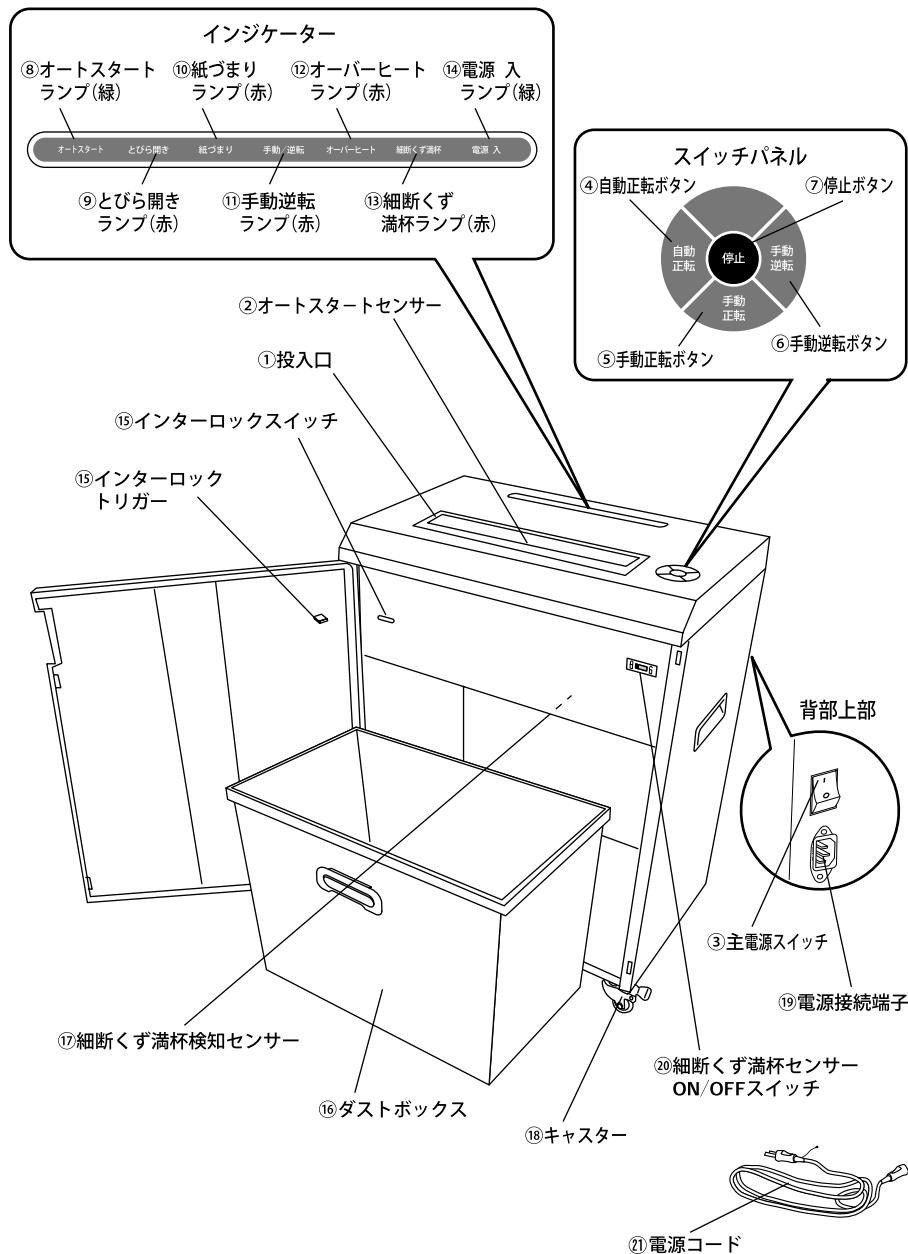
電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。

電源プラグをコンセントへ接続する前に必ずアース線を接続してください。

またアース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

※火災、感電の恐れがあります。

### 3・各部の名称と働き



#### ①投入口

細断するものを投入してください。紙以外のものは絶対に細断しないでください。

#### ②オートスタートセンサー

自動モード時に、投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過させると、自動的に細断を開始します。投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過しないと、作動しません。

#### ③主電源スイッチ

本体背面にある主電源スイッチを押して、電源をオン(Ⅰ)/オフ(Ⅱ)にします。長期間使用しない場合は、必ずオフにしてください。

#### ④自動正転ボタン

ボタンを押すと自動モード時になり、オートスタートランプ(緑)が点灯し、投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過させると、自動的に細断を開始します。

#### ⑤手動正転ボタン

このボタンを押し続けている間だけ“手動正転モード”になり、手動細断をすることができます。

#### ⑥手動逆転ボタン

このボタンを押し続けている間だけ、手動逆転ランプ(赤)が点灯し、“手動逆転モード”となり、カッターは逆転作動します。ボタンを離しますと、手動逆転ランプが消灯して元の状態に戻ります。

#### ⑦停止ボタン

ボタンを押すとオートスタートランプ(緑)が消灯し、スタンバイ状態になります。スタンバイ状態ではオートセンサーの機能は停止します。長期間使用しない場合は、背面の主電源スイッチも必ずオフ(Ⅱ)にしてください。

#### ⑧オートスタートランプ(緑)

自動正転ボタンを押すとオートスタートランプ(緑)が点灯して、“自動正転モード”になります。オートスタートランプ(緑)が点灯している時は、オートスタートセンサーがオンの状態です。

#### ⑨とびら開きランプ(赤)

とびらが開いている場合、とびら開きランプ(赤)が点灯して知らせます。とびらをしっかりと閉めてください。とびら開きランプ(赤)が点灯している間は細断できません。

#### ⑩紙づまりランプ(赤)

紙づまりが発生した場合、紙づまりランプ(赤)が点灯して知らせます。詰まった紙を取り除いてください。詰まった紙を取り除いた後、停止ボタンを押してリセットしてください。

#### ⑪手動逆転ランプ(赤)

手動逆転ボタンを押し続けている間だけ、手動逆転ランプ(赤)が点灯し、“手動逆転モード”となり、カッターは逆転作動します。

#### ⑫オーバーヒートランプ(赤)

連続運転を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒート防止機能が働き、オーバーヒートランプ(赤)が点灯して自動的に停止します。約30分後モーターが冷却され、オーバーヒートランプ(赤)が消灯して再度使用することができます。

#### ⑬細断くず満杯ランプ(赤)

ゴミが満杯になりますと、センサーが働き、細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して細断が止まります。ダストボックスの細断くずを捨ててください。

#### ⑭電源入ランプ(緑)

背面にある主電源スイッチをオン(Ⅰ)にすると、電源入ランプ(緑)が点灯して、スタンバイ状態になります。

⑮インターロックスイッチ／トリガー

とびらがきちんと閉まっていない場合はとびら開きランプ(赤)が点灯して、安全のために本機は作動しません。万一の場合は、とびらを開けるとモーターは停止しますので、非常停止手段として使用可能です。

⑯ダストボックス

本体にセットしてご利用いただく専用のダストボックスです。ご使用前に本体にセットされていることをしてください。

⑰細断くず満杯検知センサー

ダストボックスが満杯になりますと、細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して、自動的に停止します。ダストボックスにたまった細断くずを捨ててください。

⑱キャスター (4ヶ所)

設置後は必ず前2ヶ所のキャスターをロックしてください。

⑲電源接続端子

付属の電源コードを背面にある接続端子に接続してください。

⑳細断くず満杯センサーON/OFFスイッチ (12ページ参照)

冬季等の乾燥期や機密性が高い室内等の環境下でシュレッダを使用する場合、発生しやすくなる静電気の影響により「細断くず満杯センサー」が過剰反応する可能性があります。その際には「細断くず満杯センサー」を一旦切り、細断くずの量に注意しながらご使用ください。

㉑電源コード

必ず電源プラグをAC100Vのコンセントに接続して使用してください。  
タコ足配線は避けてください。

## 4・ご使用の前に

本機は紙類の細断専用機です。

★OHPシート・カーボン紙・厚紙・通帳の表紙・封筒(糊がついているため)・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊のついたものは細断に適しません。投入しないでください。

★10号・11号針以外のステープル・クリップ・ポンなどは必ず取り除いてから投入してください。

### 細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

種類	摘要	カットタイプ	最大細断枚数	定格細断枚数
紙類	A 4 (コピー用紙 64g/m <sup>2</sup> )	マイクロロスカット (2×10mm)	22枚 (50HZ)	20枚 (50HZ)
			20枚 (60HZ)	17枚 (60HZ)

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。(64g/m<sup>2</sup>・A4コピー用紙、細断率90%以上)

定格細断枚数：

定格時間連続で細断することができる枚数。(64g/m<sup>2</sup>・A4コピー用紙、細断率90%以上)

## 警告



投入口でネクタイ・ネックレス・髪・衣類が引き込まれないようにしてください。

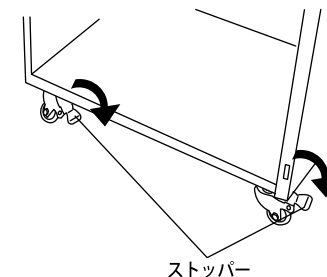
※けがをする原因になる恐れがあります。

万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。



## 設置

設置後は、必ずキャスター(手前2ヶ所)のストッパーをロックしてください。



ストッパー

## 注意



本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。

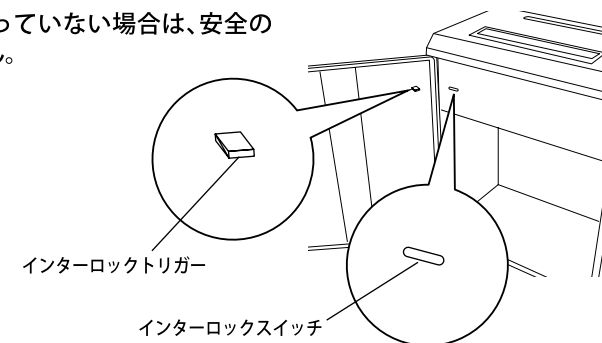
水平で安定した場所に設置してください。

※けがをする原因になる恐れがあります。

## 5・ご使用方法

### インターロックスイッチ

とびらがきちんと閉まっていない場合は、安全のために本機は作動しません。



インターロックトリガー

インターロックスイッチ

### とびら開き警告機能

本機は安全のため、とびらが開いている状態では作動しません。とびら開きランプ(赤)が点灯して知らせます。とびらをしっかりと閉めてください。



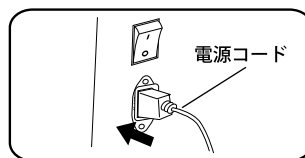
とびら開き

### —オートスリープ機能—

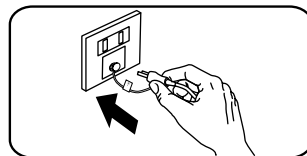
本機では省エネのため、電源投入後・細断後10秒を過ぎると自動的に表示を消灯させ、スリープモードに入ります。スリープモードからの復帰は、投入口に紙をセットするか、「自動正転」「手動正転」「手動逆転」のいずれかのボタンを押すとスタンバイ状態に復帰します。「自動正転」ボタンを押し、オートスタートランプ(緑)を点灯させ、紙を投入口に入れて細断してください。細断後10秒を過ぎると再びスリープモードに入ります。

## 自動モード

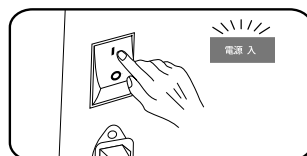
- ① 本体背面にある電源接続端子に電源コードをしっかり差し込んでください。



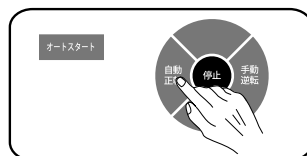
- ② アース端子をアース接続した後に、コンセント(AC 100V)に差し込んでください。



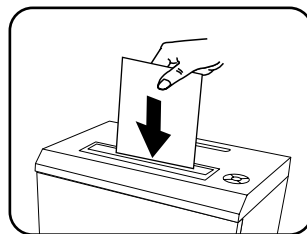
- ③ 本体背面にある主電源スイッチをオン(1)にしてください。  
電源入/切ランプ(緑)が点灯します。



- ④ 自動正転ボタンを押してください。  
オートスタートランプ(緑)が点灯します。



- ⑤ 細断するものを投入口の中央にまっすぐに入れてください。



\*投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過するようにしてまっすぐに投入してください。

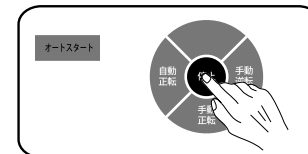
★投入口(A3サイズ)より大きな紙類を細断する場合は、小さな幅に折ってから細断してください。  
(最大細断枚数を超えないようにご注意ください。2ツ折/1枚=2枚換算)

### —オートカットオフ機能—

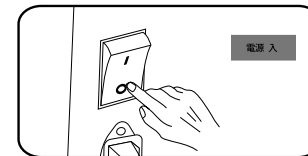
本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働きます。連続運転(60分以上)を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒートランプが赤色に点灯し自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は、必ず電源を切りそのまま冷却してください。約30分後には再び使用することができます。電源を切りませんと、復帰後、急にカッターが回転して大変危険です。



- ⑥ 細断が終了しましたら、必ず停止ボタンを押してください。  
オートスタートランプ(緑)が消灯します。



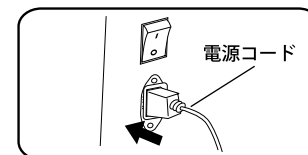
- ⑦ 停止ボタンを押した後、必ず本体背面にある主電源スイッチをオフ(0)にしてください。  
電源入/切ランプ(緑)が消灯します。



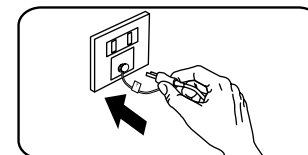
## 手動モード

紙詰まりしたものを取り除く時や小さなものを細断する時に利用してください。

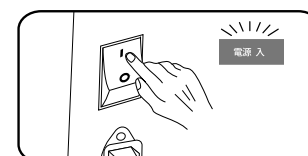
- ① 本体背面にある電源接続端子に電源コードをしっかり差し込んでください。



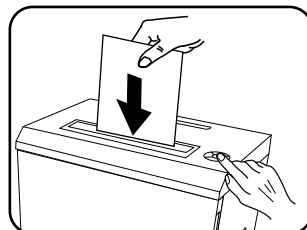
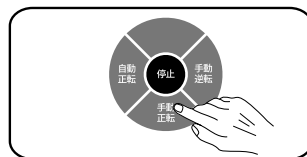
- ② アース端子をアース接続した後に、コンセント(AC 100V)に差し込んでください。



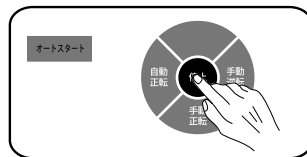
- ③ マシン背面にある主電源スイッチをオン(1)にしてください。  
電源入/切ランプ(緑)が点灯します。



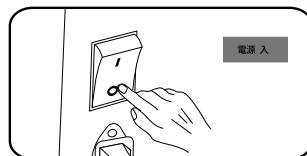
- ④ 手動正転ボタンを押しながら、細断するものを投入口にまっすぐに入れてください。  
ボタンを押している間のみ正転します。



- ⑤ 細断が終了しましたら、停止ボタンを押してください。  
オートスタートランプ(緑)が消灯します。



- ⑥ 本体背面にある主電源スイッチをオフ(○)にしてください。  
電源入/切ランプ(緑)が消灯します。



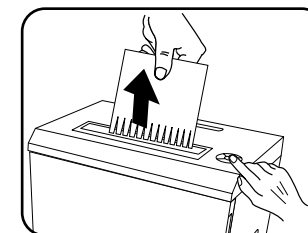
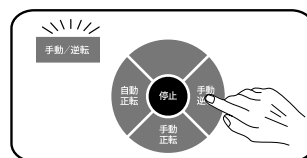
### 紙づまりを起こした時 (手動逆転モード)

紙詰まりを起こした場合は、紙づまりランプ(赤)が点灯して知らせます。  
手動逆転ボタンを押して、つままったものを引き出してください。

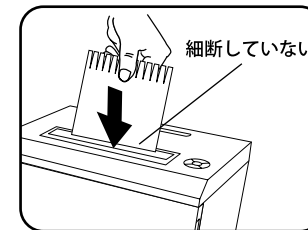


- ① 本機は過負荷防止機能により、モーターが過負荷になりますと自動的に逆転し、詰まったものを吐き出します。その後出てきた紙を引き出してください。  
紙を引き出した後、カッター部の清掃のため自動でカッターが逆転します。故障ではありません。

- ② それでも紙が引き出せない時は、手動逆転ボタンを押しながら、詰まったものを投入口から引き出してください。ボタンを押している間だけ、手動逆転ランプ(赤)が点灯して逆転します。



- ③ 詰まった紙の量を減らして、細断していない方向から投入口にまっすぐに入れ細断してください。



### ⚠ 注意



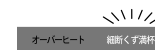
モーター保護のため、頻繁に正転⇄逆転を繰り返さないでください。故障の原因となる場合があります。  
必ず最大細断枚数を守ってご使用ください。

紙詰まりを起こしたまま放置しないでください。  
※故障をする原因になる恐れがあります。

## 6・ゴミを捨てる時

### — 細断くず満杯センサー —

本機には、細断くず満杯センサーが装備されています。ダストボックスが満杯になりますと、細断くず満杯ランプ(赤)が点灯し、細断くずが満杯であることを知らせます。ダストボックスにたまった細断くずを捨ててください。



### — 細断くず満杯センサーON/OFFスイッチ —

冬季等の乾燥期や機密性が高い室内等の環境下でシュレッダを使用する場合、発生しやすくなる静電気の影響により「細断くず満杯センサー」が過剰反応する可能性があります。

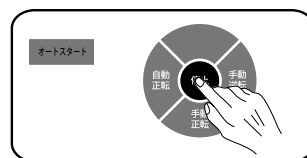
その際には「細断くず満杯センサー」を一旦切り、

センサー「OFF」 ↔ センサー「ON」

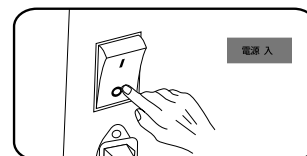


細断くずの量に注意しながらご使用ください。

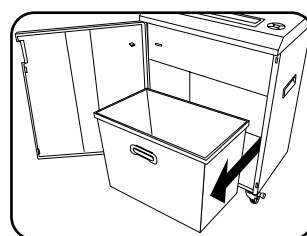
- ①停止ボタンを押してください。  
オートスタートランプ(緑)が消灯していることを確認してください。



- ②停止ボタンを押した後、必ず本体背面にある主電源スイッチをオフ(○)にしてください。  
電源入/切ランプ(緑)が消灯します。

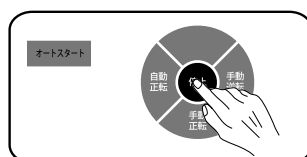


- ③ダストボックスをキャビネットから引き出し、細断くずを捨ててください。

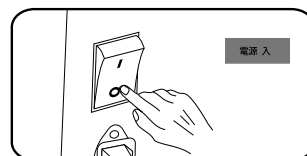


## 7・お手入れ方法

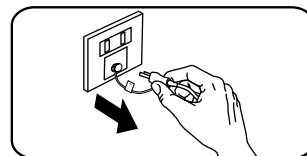
- ①停止ボタンを押してください。  
オートスタートランプ(緑)が消灯していることを確認してください。



- ②停止ボタンを押した後、必ず本体背面にある主電源スイッチをオフ(○)にしてください。  
電源入/切ランプ(緑)が消灯します。

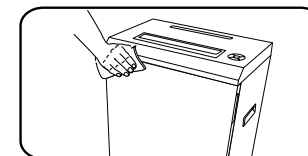


- ③電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。次にアース線を外してください。



- ④やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部樹脂部とキャビネットだけにしてください。



### 警告

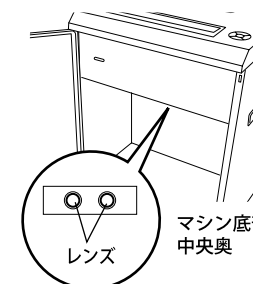


ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。  
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。  
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

### ゴミ満杯センサーの清掃方法

本機には、光方式の細断くず満杯センサーが装備されています。長くご使用されておられますとホコリの付着等によりまれに誤動作を起こす場合がございます。もしゴミを処分されました後、まだくず満杯ランプ(赤)が点灯しているようでしたら、レンズ部分を綿棒等でホコリの付着を落としてみてください。



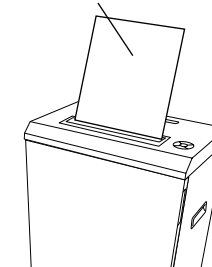
### 警告

内部には細断のためのカッターがむき出しになっております。充分ご注意の上、作業してください。

### カッターのメンテナンス (メンテナンスシート)

カッターの性能を持続するために、シュレツダに投入するだけで簡単に使用できるメンテナンス用潤滑油「シュレツダ用メンテナンスシート(別売)」を利用することをお勧め致します。

シュレツダ用  
メンテナンスシート





## 8・こんな時は

現象	原因	対処法 (参照ページ)
動かない	<p>◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？</p> <p>◇電源が入っていますか？</p> <p>◇オートスタートランプ(緑)が点灯していますか？</p> <p>◇細断するものが投入口中央を通過していますか？</p> <p>◇とびらがしっかりと閉まっていますか？</p> <p>◇紙づまりを起こしていませんか？</p>	<p>電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(9ページ)</p> <p>主電源スイッチをオン(1)にしてください。電源 入ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。(9ページ)</p> <p>自動正転ボタンを押してください。オートスタートランプ(緑)が点灯していることを確認してください。(9ページ)</p> <p>投入口中央にあるセンサーを通過するようにまっすぐに投入してください。(9ページ)</p> <p>とびらがしっかりと閉まっていませんと、インターロックスイッチが入らず、作動しません。奥まできちんと閉めてしてください。とびら開きランプが消えていることを確認してください。(8ページ)</p> <p>かみこんだ紙を取り除いてください。(11ページ)</p>
細断中に止まった	<p>◇オーバーヒートランプが点灯していませんか？</p> <p>◇紙づまりを起こしていませんか？</p>	<p>通常の使用を超えて連続細断したり、紙がかみこんだ状態で放置しますと、モーター保護のため自動的に停止します。電源プラグを抜き、30分冷却してください。再び使用することができます。(10ページ)</p> <p>かみこんだ紙を取り除いてください。(11ページ)</p>
細断できない	<p>◇自動正転モードになっていますか？(オートスタートランプ(緑)が点灯していますか？)</p> <p>◇紙を多く入れすぎていませんか？</p> <p>◇投入口の幅より大きな紙を入れていませんか？</p> <p>◇紙を斜めにして入れていませんか？</p>	<p>自動正転ボタンを押して、オートスタートランプ(緑)を点灯させてください。(9ページ)</p> <p>細断できる枚数をご確認ください。紙づまりの場合は、手動逆転ボタンを押しながら紙を取り除き、枚数を減らして分けて細断してください。(7・11ページ)</p> <p>手動逆転ボタンを押しながら紙を取り除き、小さな幅にして細断してください。(7・9・11ページ)</p> <p>手動逆転ボタンを押しながら紙を取り除き、まっすぐに投入し直してください。(9ページ)</p>
頻繁に細断かず満杯ランプが点灯する	<p>◇頻繁に細断かず満杯ランプが点灯する</p>	<p>冬季等の乾燥期や機密性が高い室内等の環境下で使用する場合、発生しやすくなる静電気の影響により「細断かず満杯センサー」が過剰反応する可能性があります。その際には「細断かず満杯センサー」を一旦切り、細断くずの量に注意しながらご使用ください。(12ページ)</p>

## 9・製品仕様

商品名	マイクロカットシュレッダ <b>WO1M</b>
品番	<b>GSHW01M</b>
投入幅	<b>305 mm (A3)</b>
細断サイズ	<b>2×10 mm マイクロクロスカット</b>
最大細断枚数	<b>22 枚(50Hz) / 20 枚(60Hz)</b>
定格細断枚数	<b>20 枚(50Hz) / 17 枚(60Hz)</b>
定格運転時間	<b>60分運転</b>
細断速度	<b>2.3 m/分(50Hz)、2.9 m/分(60Hz)</b>
サイズ(W) x (D) x (H)	<b>524 × 362 × 695 mm (※電源コードを除く)</b>
質量 kg	<b>50.0 kg</b>
電源	<b>AC 100 V, 50/60 Hz</b>
定格消費電力	<b>720W</b>
使用環境	<b>15℃～30℃</b>

### 最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。(64g/m<sup>2</sup>・A4コピー用紙、細断率90%以上)

### 定格細断枚数：

定格時間連続で細断することができる枚数。(64g/m<sup>2</sup>・A4コピー用紙、細断率90%以上)